

令和4年度 学校努力点

研究主題

主体的に学ぶ子どもの育成 ～ 振り返り活動を重点に ～

I 研究主題設定の理由

学習指導要領では、児童が学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の実現が求められている。昨年度から「主体的に学ぶ子どもの育成」を主題に実践に取り組んだ。イメージマップ、フローチャート等を活用して、思いや願いを広げ、整理、共有するなかで、自らの課題を設定し、計画を立てることで、課題を自分事として捉え、粘り強く取り組むことができるようになってきた。一方で、振り返り活動については、次の活動につながる振り返りのタイミングや内容に課題が見られた。毎時の終末、活動の区切りなどのタイミングに、振り返りの視点を示したり、思いや願いの実現や次の活動につなげる姿を価値付けたりすることや、友達と協働する場の設定が求められる。このような活動を通して、思いや願いの実現や次につなげる主体的な学びにつながると考える。

そこで、本年度は、昨年度に引き続き、低学年では生活科、中・高学年では総合的な学習の時間で、子どもが自らの思いや願いに基づいて課題設定ができるようにするとともに、「振り返り活動」に重点を置き、課題解決に向けて子ども自身が調整しながら取り組むことができるようにすることで、「主体的に学ぶ子ども」の育成を目指す。

手立て① 子どもの思いや願いに基づいた課題設定

イメージマップ、フローチャート等を活用して、思いや願いを広げ、整理し、共有する中で、思いや願いに基づいた具体的な課題を洗い出す。それを参考にして、自らの課題を設定し計画を立てていくことで、課題を自分事として捉え、粘り強く取り組む姿につなげたい。

手立て② 振り返り活動の工夫 ☆重点☆

1枚ポートフォリオ、学習履歴図等といった振り返りカードを活用して、毎時の終末、活動の区切りやまとまりごとに、学習活動の成果や自分の考え、改善点等を記録していく。その際、振り返りの視点を示したり、思いや願いの実現や次の活動につなげる姿を価値付けたりしていく。また、友達と振り返りを共有する場を設けることは、思いや願いの実現や次につなげる主体的な学びにつながると考える。この取り組みを通して、自分の考えを改善して、課題解決に向けて、調整しながら取り組む姿につなげたい。

